

..... 編集後記

◆ 先月末に宮崎・鹿児島県境にある新燃岳が噴火活動を再開して、近隣地域に不安と甚大な被害を与えており、一刻も早く平穏な生活に戻ることを祈願致しております。さて、今月号は「水戸一高のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」と題する特集記事4編と一般記事5編による構成です。

◆ サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)というのは、文科省の施策の一つで、学校の児童生徒の科学技術、理科・数学に対する興味・関心と知的探求心等を育成することを目的として、学校等と大学・科学館・研究所等との連携による観察、実験、実習等の体験的な学習活動を支援するものです。本誌643号や単発的な記事でも報告されていますが、今回は高校生と研究者とのSPP活動ということで、その詳細を紹介していただきました。お忙しい学校教育や研究の合間をぬって、ようやく記事を書き上げていただきましたので、今後の活動の参考になること、間違いないでしょう。

◆ はじめに、提案者の一人である植木氏にSPPの概要ならびに研究者の立場からSPPの意義を述べていただき、水戸一高の青木氏からは、実際の活動や学校教育からみたSPPの意義を紹介していただきました。今回のSPP活動が、文科省のねらい以上に意義深かったことがにじみ出ています。

◆ 続いては、実際に講義された講師の皆様からの記事です。講師というのは、主張したいことを伝えるだけでなく、相手にも興味を持って内容を理解してもらうことが重要です。山崎氏はSPPの講師としての経験を通して、これらの課題にどう対処したら良いかの指標を与えており、今後の参考になります。川村氏は、

地学と生物学とをリンクさせた強磁性鉱物・走磁性バクテリアの観察実験の様相を紹介しており、いずれも非常に興味深い読みものです。

◆ 一般記事のはじめは、これまでも何度か掲載された茂野氏による電子地球科学情報の利用研究です。温泉の化学組成と地下地質との関係を北海道の石狩低地を例に示した、読み応えのある記事です。

◆ 地質調査総合センターでは全国をカバーすべく種々の地質図を作成してきましたが、隣り合う5万分の1地質図幅等でも連続性に問題があるため、統一解釈に基づくシームレス化の整備が行われ、昨年一般公開されました。脇田氏はフランスの現状とあわせてこれを紹介していますので、記事を読んで詳しい作業内容を理解され、是非ご利用下さい。

◆ 環境とエネルギー問題は現代人に課せられた大きな問題で、原子力はその救世主として見直されつつある中、川幡氏は原子核分裂反応とその関連事項について、分かり易い講義のように紹介しています。

◆ 国分氏による「大地の友、ゲート」は2回目目、今回は学生から宮廷勤めに移り鉱山開発に取り組んだ際の、自然に対するゲートの見方が紹介されています。一般に知られているゲートとは一味違う側面をお読み下さい。最後は、中野氏ほかベトナムにおけるボーキサイト開発の情報を紹介しており、資源開発における地域社会への公開・透明性確保の重要性を示唆しています。

◆ 今年の11月号(675号)p.65にある「Caesarの…略…来た、見た、買った」は、正しくは「Caesarの…略…来た、見た、勝った」です。お詫びして訂正致します。来月は最終号となります。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第678号	2011年	2月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2011年2月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2011 Geological Survey of Japan